

JICA 記者勉強会のご案内

モンゴル外交関係樹立 50 周年／中央アジア・コーカサス外交関係樹立 30 周年

**世界情勢を踏まえた内陸アジアの新たな課題と**

**JICA 協力事業のご紹介**

～モンゴル、キルギス、コーカサス地域の最新動向を現地から報告～

12月13日(火)15時00分～16時00分 オンライン参加も可

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助(ODA)実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構(理事長:田中明彦、本部所在地:東京都千代田区、以下:JICA)は、12月13日(火)、モンゴル、キルギス、ジョージアの事務所長や関係者をオンラインで繋ぎ、モンゴル・中央アジア・コーカサス地域の最新情勢と、JICAの協力事業を紹介する記者勉強会を開催します。

2022年は日本・モンゴル外交関係樹立50周年、日本と中央アジア・コーカサス諸国の外交関係樹立30周年にあたり、JICAはこれまで長年にわたって各国の取り組みを支援してまいりました。

ユーラシア大陸の内陸に位置するモンゴル、中央アジア5か国(ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス・タジキスタン・トルクメニスタン)、コーカサス3か国(ジョージア・アルメニア・アゼルバイジャン)は、いずれもロシア及び中国と国境を接し、地政学的にも大変重要な地位を占めています。ロシアのウクライナ侵攻を受け、これら地域におけるロシアの政治的影響力とプーチン大統領の権威は低下傾向にある一方で、近年、経済面では中国の存在感が高まっており、異例の3期目に入った習近平政権の今後の出方も注目されています。また、日本との関係においては、長年の経済協力等により親日国が多く、ガバナンス強化、産業多角化、インフラ整備、人材育成等を中心とするODAや民間投資への期待が高まっています。

本記者勉強会では、最新情勢を踏まえながら、各地域が直面する課題とJICAの対応について、現地から生の声をお届けします。また、ウズベキスタンやタジキスタンなど上記発表国以外の情報もまとめてご提供します。記者勉強会へのご参加をぜひご検討ください。

**【開催概要・申込方法】**

(1) 日時	12月13日(火)15:00～16:30(日本時間)(受付開始:14:30)
(2) 開催場所	国際協力機構 本部(麹町)113会議室 住所:東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル 地図: <a href="https://www.jica.go.jp/about/structure/hq.html">https://www.jica.go.jp/about/structure/hq.html</a> ※オンライン参加も可能です(オンライン参加をお申込みの方には後日、視聴URLをご案内します)。
(3) 申込方法	<u>必要事項をご記載の上、12月12日(月)12時までに以下の宛先へメールでお申し込みください。</u>

	<p>&lt;必要事項&gt;①御社名/媒体名、②部署名、③お名前、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥ご希望の参加方法（会場またはオンライン）、⑦登壇者への取材希望の有無</p> <p>&lt;宛先&gt;Fukushima.Momo@jica.go.jp（JICA 広報部報道課 福島）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の参加人数を制限させていただく場合がございます。</p> <p>※勉強会後の登壇者等への取材依頼も可能です。</p>
--	--

### 【当日のプログラム(予定)】

時間	内容	担当
15:00-15:02	全体の流れの説明	JICA 広報部報道課
15:02-15:10	開会挨拶 地域概要説明:なぜいま内陸アジアなのか	JICA 東・中央アジア 次長 田邊 秀樹
15:10-15:20	<b>モンゴルからの報告</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2つの「隣国」中国・ロシアや「第三の隣国」日本との絶妙な関係：コロナ禍、中国のゼロコロナ政策及びロシアのウクライナ侵攻がモンゴルに与えた影響と新たな課題（医療、インフラ、食料安全保障）。その課題の解決に向けて挑戦する日本の技術。</li> <li>● 日本への新たな人材供給源として注目されるモンゴル（デジタル・介護分野等）。</li> </ul>	JICA モンゴル事務所長 田中 伸一
15:20-15:30	<b>キルギスからの報告</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 知られざるキルギス国の最新動向とキルギス日本センターの役割</li> <li>● 日本・キルギスで学ぶ：高等教育分野における様々な交流の広がり</li> <li>● 日本で働く：高まる高度外国人材へのニーズに応えるキルギス及び内陸アジア遊牧文化圏3ヶ国合同の取り組み（特に工学系人材）</li> </ul>	キルギス共和国・日本人材開発センター(*)共同所長 岩井 淳武
15:30-15:40	<b>コーカサス地域からの報告</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ウクライナ戦争の南コーカサス地域への影響、アルメニアとアゼルバイジャンの関係、トルコ・イラン等周辺国との関係。</li> <li>● 領土と少数民族の問題など南コーカサス地域の課題と展望・将来性。</li> <li>● 再生可能エネルギー開発、中央回廊などのジョージアの開発課題とドナー支援の動向、JICA の取り組み。</li> </ul>	JICA ジョージア支所長 森 裕之
15:40-15:45	取材可能なイベント・関係者の紹介 (上記発表国以外の情報も提供します)	JICA 東・中央アジア部 計画課 松浦 鈴香
15:45-15:55	質疑応答	—
15:55-16:00	閉会挨拶	JICA 東・中央アジア部長 中里 太治

(\*)日本人材開発センター：<https://www.jica.go.jp/japancenter/index.html>

### 【留意事項】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の参加人数に制限がございます。定員に達した際はオンラインでの参加をお願いする場合がございます。
- ・ ご参加にあたり、マスク着用・手指消毒・距離確保へのご協力をお願いいたします。
- ・ 発熱等の風邪の症状がある方、体調がすぐれない方は、参加をお控えください。
- ・ 保健所等公的機関からの調査に申込情報を提供させていただく場合がございます。

■独立行政法人国際協力機構(JICA)について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助 (ODA)を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

< 本件に関するお問合せ先 >

JICA 広報部報道課: 福島(TEL:03-5226-9780、 Email:Fukushima.Momo@jica.go.jp)